

# 堀川のみず⑦

## 素朴な疑問にお答えします

Q: どうして堀川の底は、黒いの？

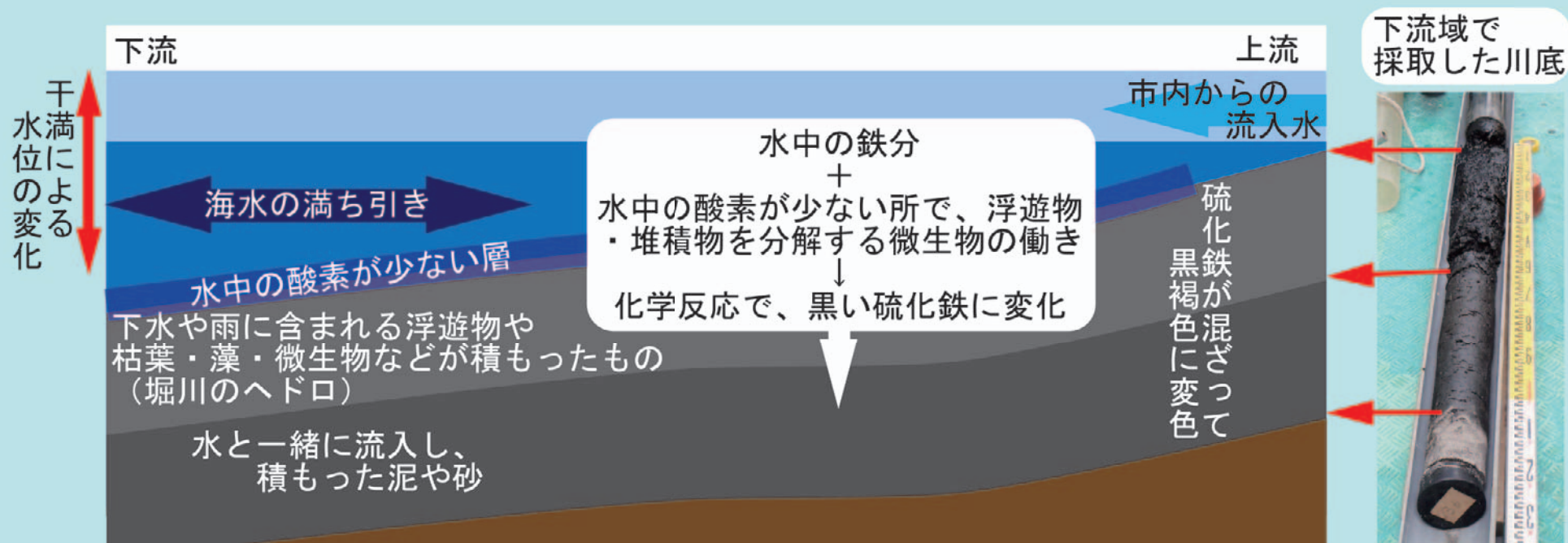
A: 干潮時の堀川では、黒ずんだ川の底が露わになることがあります。

堀川は、市内から流入する水と名古屋港からの海水が、潮の満ち引きで行ったり来たりしているため、水中の浮遊物が時間をかけて川底に積もっています。

川の底が黒いのは、一つには下図のように微生物の働きにより、水中に含まれる鉄分が化学反応を起こして黒くなるためとされています。



干潮時に露出した黒い川底



酸素が少ない状態の堀川の底で、積もったものを分解する微生物の活動は、ガス(硫化水素など)を発生させます。

時折このガスが、泡となって水中から浮かんできたり、黒い塊(ヘドロ)を浮かび上がらせています。

また、温泉や卵が腐ったような臭いも、このガスが原因です。

堀川では、季節や天候、潮の状態により、磯の臭いや汚水の臭いが漂う場合があります。

微生物が発生させるガスの泡



発生したガスにより、一時的に浮かび上がるヘドロ

